

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 3日 (金) (17:00~20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 平井・水戸・山見・山本・岡田・鶴・前田・村上・桑嶋・日比・中村・仲岡・高橋・望月

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	5人	人	人	14人

前回の改善計画	
これまでのノウハウを生かしつつ、「同じ方はいない」ことを念頭に置き、丁寧に新規利用者を受け入れる。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
新規利用受け入れ前にケアマネよりサマリーが出され、共有した上で受け入れができています。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	11	3			14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	10	4			14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	12	2			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	12	2			14

できている点	
<p>①本人から聞き取りできた希望や課題を朝の申し送り等で出し合っている。また、それに対応した結果も随時話し合っている。</p> <p>②連絡ノートを活用し、変化していく内容について共有しあっている。</p> <p>③声を掛け他の利用者とのコミュニケーションを仲介し、馴染めるように配慮出来ている。</p> <p>④家人の意向を伺い、施設に持ち帰って、所長と副所長、ケアマネに報告し、その都度対応している。</p>	

できていない点	

次回までの具体的な改善計画	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 10 月 3 日 (金) (17:00~20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 平井・水戸・山見・山本・岡田・靄・前田・村上・桑嶋・日比・中村・仲岡・高橋・望月

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	8 人	3 人	人	14 人

前回の改善計画
全利用者の最新のケアプランを集約したファイルを作成し、常に閲覧し、その方の「～したい」を素早く確認できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
全利用者の最新の集約したファイルが完成に至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	6	8			14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	8	6			14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	9	5			14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	8	5	1		14

できている点
①閲覧員を付け、皆に共有出来るようにしている。 ①ケアプランに目を通して、本人の思いに添ったケアを心掛けている。 ②ケアプランの内容をスタッフ同士共有している。 ③本人の希望を頭に入れ、ケアを行っている。 ④朝のミーティング、月一のミーティングで情報を共有し、次の対応に活かせられるよう心掛けている。

できていない点
①特に担当も決まっていなかったため、ケアプランのファイリング整備できずそのままになっていた。 ① 全ての利用者の目標を把握して関わることはできていないと思う。 ④ミーティングで疑問点を確認する間がないと感じる事がある。

次回までの具体的な改善計画
作成中の全ご利用者の最新のケアプランを集約したファイルを完成させる。ケアプランを閲覧しやすくすることで、その方の「～したい」の把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 10 月 3 日 (金) (17:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 平井・水戸・山見・山本・岡田・鶴・前田・村上・桑嶋・日比・中村・仲岡・高橋・望月

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	4 人	5 人	人	14 人

前回の改善計画	引き続き、一ヶ月以内の「以前の暮らし方」の 10 個の聞き取り完遂を目指す。内容は、利用開始後のミーティングで共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の「以前の暮らし方」10 個の聞き取りを 1 か月で完遂することが難しい場合があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	2	7	5		14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	12	2			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	10	3	1		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	12	2			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	11	3			14

できている点	<p>① 普段の会話の中から、以前の暮らしは? と本人から聞き出し把握するようにしている。</p> <p>② 本人の状態に合わせたケアを行うよう、スタッフ同士共有し、徹底出来ている。</p> <p>③ 全利用者についてミーティングで話し合い、共有出来ている。</p> <p>④ 申し送りノートには検印欄を設け、確認後各自サインをしている。朝のミーティングで情報共有し体調の変化に充分注意し、変化にも対応できている。</p>
--------	---

できていない点	<p>① 新規利用者の「以前の暮らし方」の聞き取りが 1 か月以内に終わらないことがあった。</p> <p>③ 新規の方で信頼関係が構築出来ない方の「声にならない声」を言語化するのは難しいと感じる時がある。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者ごとに担当職員を決める。新規利用開始後、2 か月以内に「以前の暮らし方 10」を聞き取りする時間を、業務として設定し把握に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 10 月 3 日 (金) (17:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 平井・水戸・山見・山本・岡田・鶴・前田・村上・桑嶋・日比・中村・仲岡・高橋・望月

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7 人	6 人	1 人	人	14 人

前回の改善計画	民生委員は市の福祉課で調べることができる。把握につとめ、有事に備える。
前回の改善計画に対する取組み結果	全利用者の担当民生委員の把握には至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	8	6			14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	11	3			14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	8	6			14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	9	3	2		14

できている点	①利用開始前に、情報にしっかり目を通してしている。利用後に分かったことはミーティングや申し送り等で共有している。 ②所長・ケアマネが家族・本人と話し、地域との関係も支援出来ている。 ③家族への聞き取りで把握している。近隣の方から情報提供頂くこともあり、そうした場合は共有し、生活状況の把握に努めている。 ④所長・ケアマネが把握出来る体制を作ってくれている。
--------	---

できていない点	④日々変化する利用者の状況に応じた地域の資源、福祉サービス等、適宜把握するに至っていないこともあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
有事に備え、独居利用者の担当民生委員の把握に努める。担当民生委員は緊急連絡表で確認できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 10 月 3 日 (金) (17:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 平井、水戸、山見、山本、岡田、鶴、前田、村上、桑嶋、日比、中村、仲岡、高橋、望月

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	5 人	人	人	14 人

前回の改善計画	昨年同様引き続き「社会資源ファイル」「社会資源ボード」の活用を継続し、地域の情報を収集・共有し、柔軟なサービス提供に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	「社会資源ボード」を活用し、地域の情報を収集・共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	11	3			14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	13	1			14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	12	2			14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	12	2			14

できている点	<p>①利用者が以前から関わっているインフォーマルサービスと協力し合っているケースがある。訪問看護や訪問リハビリとの連携できている。地域のクリーンデーに参加したり、利用者の地域の 100 歳体操参加支援や近隣の理美容の利用支援等、行っている</p> <p>②本人・家族の状況に応じて、可能な限り追加や変更等対応できている。対応が難しい場合は代替案を提案し、提供している。</p> <p>③変化には常に注意し、連絡ノートへの記載・申し送りや朝礼・ミーティング等で情報共有している。</p> <p>④家族からの依頼・お迎え時での気づき等で宿泊、訪問、配食への変更を行い柔軟な支援に繋げている。</p>
--------	--

できていない点	
---------	--

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 10 月 3 日 (金) (17:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 平井、水戸、山見、山本、岡田、鶴、前田、村上、桑嶋、日比、中村、仲岡、高橋、望月

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	13	1			14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	12	2			14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	12	2			14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	13	1			14

できている点	<p>①サービス担当者会議を行い、ケアマネ・所長が参加している</p> <p>②所長やケアマネが参加している。</p> <p>③地域の防災士を招いて消防訓練やAED講習、近隣小学校で行われる夏祭りやとんど焼きに参加している</p> <p>④月一回開催の「地域交流カフェ」や年二回の花や野菜の苗配布で、地域の方が来所される。地域の幼稚園児や保育園児が季節の節目で来所し、歌や手作りの作品をプレゼントしてくれている。</p>
--------	--

できていない点	
---------	--

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 10 月 3 日 (金) (17:00~20:00)

7. 運営

メンバー 平井、水戸、山見、山本、岡田、鶴、前田、村上、桑嶋、日比、中村、仲岡、高橋、望月

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	9	5			14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	10	4			14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	11	3			14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	10	4			14

できている点	<p>①日々その場で意見を言ったり、ミーティングや朝礼で気づきや意見を発言できる。</p> <p>②ご意見はよく聞き、所長・ケアマネにも報連相行っている。ミーティング等で共有し意見を出し合い、可能な限り迅速に対応している。</p> <p>③近隣の方からご意見頂いた場合は、所長・ケアマネに報告し、スタッフと共有し対応している。</p> <p>④地域のコミュニティハウス等に広報を毎月置かせて頂いている。地域の夏祭りに協賛している。毎秋行われる地域のふれあい作品展に参加している。</p>
--------	---

できていない点	
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>地域交流カフェや苗配布等、事業所発信の取り組みを通じ、これまで以上に地域の方が訪れやすい事業所を目指す。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月3日(金) (17:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 平井、水戸、山見、山本、岡田、鶴、前田、村上、桑嶋、日比、中村、仲岡、高橋、望月

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11人	3人	人	人	14人

前回の改善計画	次年度も引き続き、毎月のミーティングでヒヤリハットを共有。同じ内容のミスやヒヤリハットが繰り返された場合、速やかに分析し、対策を講じ実践する。
前回の改善計画に対する取組み結果	不適合やヒヤリハットの共有や対策は迅速にできていた。時間が経過して同じミスが発生したケースがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	12	2			14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	10	4			14
③	地域連絡会に参加していますか	10	4			14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	9	5			14

できている点	①毎月のweb研修を受講出来ている。 ②対象職員はスキルアップの研修に参加している。 ③所長、ケアマネが参加している。 ④常にリスクを考え、朝の朝礼、月に一回のミーティングなどで話し合っている。ヒヤリハットの見直しと不適合が出た時には共有し、次に繋げていけるよう努力している。
--------	---

できていない点	④ヒヤリハットの対策は講じているが、同じミスが続く事がある。
---------	--------------------------------

次回までの具体的な改善計画	次年度も引き続き、毎月のミーティングで不適合・ヒヤリハットを共有。同じ内容のミスやヒヤリハットが繰り返された場合、速やかに分析し、対策を講じ実践する。定期的にリマインドも行い、事故予防に努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月3日(金)(17:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 平井、水戸、山見、山本、岡田、鶴、前田、村上、桑嶋、日比、中村、仲岡、高橋、望月

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	5人	1人	人	14人

前回の改善計画
プライバシーにかかわる質問をする際、他の方に聞こえないよう、声の大きさや場所に配慮しつつ聞き取りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
個別対応では、各自意識出来ていた。一方、朝の申し送りやミーティング等の職員同士の話し合いの場で、声が大きくなることが見受けられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	2			14
②	虐待は行われていない	13	1			14
③	プライバシーが守られている	8	5	1		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	4			14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	5			14

できている点

①「これは拘束にならないか」と意識して仕事に取り組んでいる。拘束は行われていない。
③トイレや特に脱衣所などでカーテンを使用し、プライバシーに配慮している。
排泄のお声掛けは周りに聞こえないように工夫している。
④現在活用しているご利用者はおられないが、成年後見制度は毎年研修を受け理解している。
⑤インスタに投稿する時は名前が分かる物が映らないよう個人情報に注意している。

できていない点

①特に朝の朝礼時などご利用者の様子を話す際、声が大きくなる時がある。早朝受け入れした利用者もフロアにいるため「声を小さくしましょう」と注意しあう時がある。
③トイレに持ち込むパット等が、周囲に見えないようにする配慮が欠けていることがある。

次回までの具体的な改善計画

- ・朝の申し送りの際、早朝受け入れした利用者の座席位置に配慮する。
- ・パット等排泄介助で使用するものを持ち歩く時は、フロアにいる利用者から見えないよう配慮する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	余田洋右	法人・事業所の特徴	利用者の第二の我が家となるように、家庭的な雰囲気です心地よく安らぎの場を提供することを心がけている。眺めの良い明るい開放的な立地にあり、幼稚園や小学校と隣接している為、登下校の見守り活動や行事を通して地域との関わりを大切にしている。利用者のリクエストや季節に合わせた手作りの料理を提供している。セラピストや音楽療法士が利用者の様子を集団活動や個別支援など継続して関わっている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 けやきの郷	管理者	平井さおり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	1人	1人	2人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の短期目標を把握したケアを提供することで、その方の願いの自己実現の支援に努めてゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ケアプランの共有に努めることができた。 職員が利用者の目標を意識した支援に努めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流として、地域交流カフェや苗の配布など、事業所発信の取り組みができていた。 誕生日の個人支援は良い取り組みだと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の目標を把握したケアを提供することで、その方の願いの自己実現の支援に努めてゆく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 利用者と共に、事業所の内観・外観とも、季節感を意識した装飾・園芸活動を行ってゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者と共に、様々な花や野菜作りに取り組むことができた。 利用者と共に、フロア装飾の制作に計画的に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> いつも玄関に入ったら、職員さんがすぐ来て挨拶してくれる。「歓迎されている」と感じて、とても印象が良い。 室内に入ると利用者が気さくに声をかけてくることもあり、雰囲気の良さや事業所の明るさを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の内観・外観とも、季節感を意識した装飾を利用者と共に行ってゆく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域に事業所を知ってもらえるよう、企画の情報発信の方法を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> インスタグラムの更新を活発化することができた。 毎月地域交流カフェを開催して、地域の方との交流を計ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> インスタが面白い。職員も明るく楽しんでいる雰囲気がよく分かる。もっとPRすれば良いのではないかと。 地域の催しに参加できるのは良いことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に事業所を知ってもらえるよう、企画や事業所の情報を様々な方法で発信していく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域の一員としての利用者の暮らしを支えるべく、地域の情報を包括支援センターや民生委員等から定期的に得て、利用者に伝達・紹介してゆく。 ・ご利用者の地域での暮らしを、望む形で継続できるよう、自治体や近隣の方にも働きかけ支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の防災訓練担当している防災士と連携し、自治会の防災訓練に利用者が参加する支援を行うことができた。 ・地域の催しに利用者が参加できるよう支援できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練や催しに、地域の方と連携して、利用者が参加できたのは良かったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員としての利用者の暮らしを支えるべく、地域の情報を包括支援センターや民生委員等から定期的に得て、利用者に伝達・紹介してゆく。 ・利用者の地域での暮らしを、望む形で継続できるよう、自治体や近隣の方にも働きかけ支援する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・けやき台を中心に据えつつもけやき台のみにこだわらず、ウッディタウン内の地域の催しに協力できないか、運営推進会議参加メンバーに助言頂きながら進めてゆく。 	<p>ウッディタウン内の地域の催しへ、利用者が参加するための支援を行うことができた。</p>	<p>地域包括支援センターを上手に使って、些細な困りごとでも、地域ケア会議を開催して、地域ぐるみで支援に結び付けると良いのではないか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議参加メンバーに助言頂きながら、地域ぐるみでの支援のより良い形を模索してゆく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き同敷地内のグループホームつきの樹と連携し、防災・災害対策を講じてゆく。 ・自治会の防災会議に参加しているので、事業所が避難場所になることを知ってもらうための取り組みを相談・打診してゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同敷地内のグループホームつきの樹と共に、防災訓練を年二回実施できた。 ・自治会の防災会議に参加し、事業所が福祉避難所であることを会議参加者に伝える事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災にもしっかり取り組まれていることが分かって良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同敷地内のグループホームつきの樹と連携し、防災・災害対策を講じてゆく。 ・けやき台在住の利用者が自治会の防災訓練に参加できるよう、積極的に連携していく。